



自己効力感

feeling of effect

自己に対する
ことを誇り、自分の活動の結果
が「両方深く」変化した。
自分の思っているような変化を
環境に生じさせることが出来た
といったような経験を積み重ね
ることにより形成され、自信と
あり続けることに対する意欲を得
る事が出来る。

site

三重県最大の学生都市(三重
大学、国立看護大学、陸奥
高等学校)であるこの都市の最
も公共性の高い駅として津
駅を選定。県庁所在地である
この市の中心駅である
が街の賑わいが目立つ。この
建物を拠点にし、津駅やアス
ト連を含む駅前空間を開放ソ
ンとして音楽を手段に、街の
活力感を高めたい。

ロータリー中央は行き交う車
の賑わいとなっている。



建物の高さが、
街の賑わいを象徴している。



GROOVE YOUR LIFE

自己効力感を形成する手段としての音楽

Tatsuhiko Aguro

現代この国では「無気力状態一歩手前」の人間が増え続けている。

大卒失業率21.3%

この数値が示すのは若者層に見られる単なる「気のたるみ」ではない。

時は2007年。様々なメディアが行き交い
人生の「選択肢」も、以前とは比べ物にならない程増えた。
そんな中、依然として日本では
「良い大学へ進み、良い会社へ入る」ことが、「成功」と仮定され続けている。

成功へと向かうため、若者は努力する。
しかし目にした「成功」が仮定されたものであって
自分の思う「成功」とは違ふと気付いた時に、人は無気力状態へと近づくのだ。

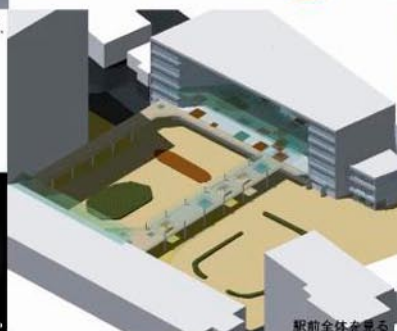
確かな手ごたえも感じずに、彼らはただ何となく年を重ねる。
彼らに欠落しているのは「自己効力感」である。

駅前を走る学習塾。
このような街の景観が、社会の現状を生み出す源と言っても過言ではない。
「成功」への選択肢は他に沢山あるはずだ。

増え続ける選択肢の中で、自己効力感の形成に最も相応しいといえる
音楽という手段を彼らに与える。
もちろんそこには「勉学よりも音楽」という概念は無い。

このプロジェクトは音楽を手がかりに、無気力状態一歩手前の人間を減らすことが
一番の狙いである。更には、音楽には人を、街を、社会を変える力があることを
たくさんの人に知ってもらいたい。

手ごたえの無い日々
退屈 自分への怠り → 音楽を手段に
自己を表現 → 他人の反応を
活力にかえる → 自分と他人の
関係性を見直し
ものごとを再評価



駅前全体を見る



津駅2階出口より建物を見る

site plans=1:1000

N

UNT Ten

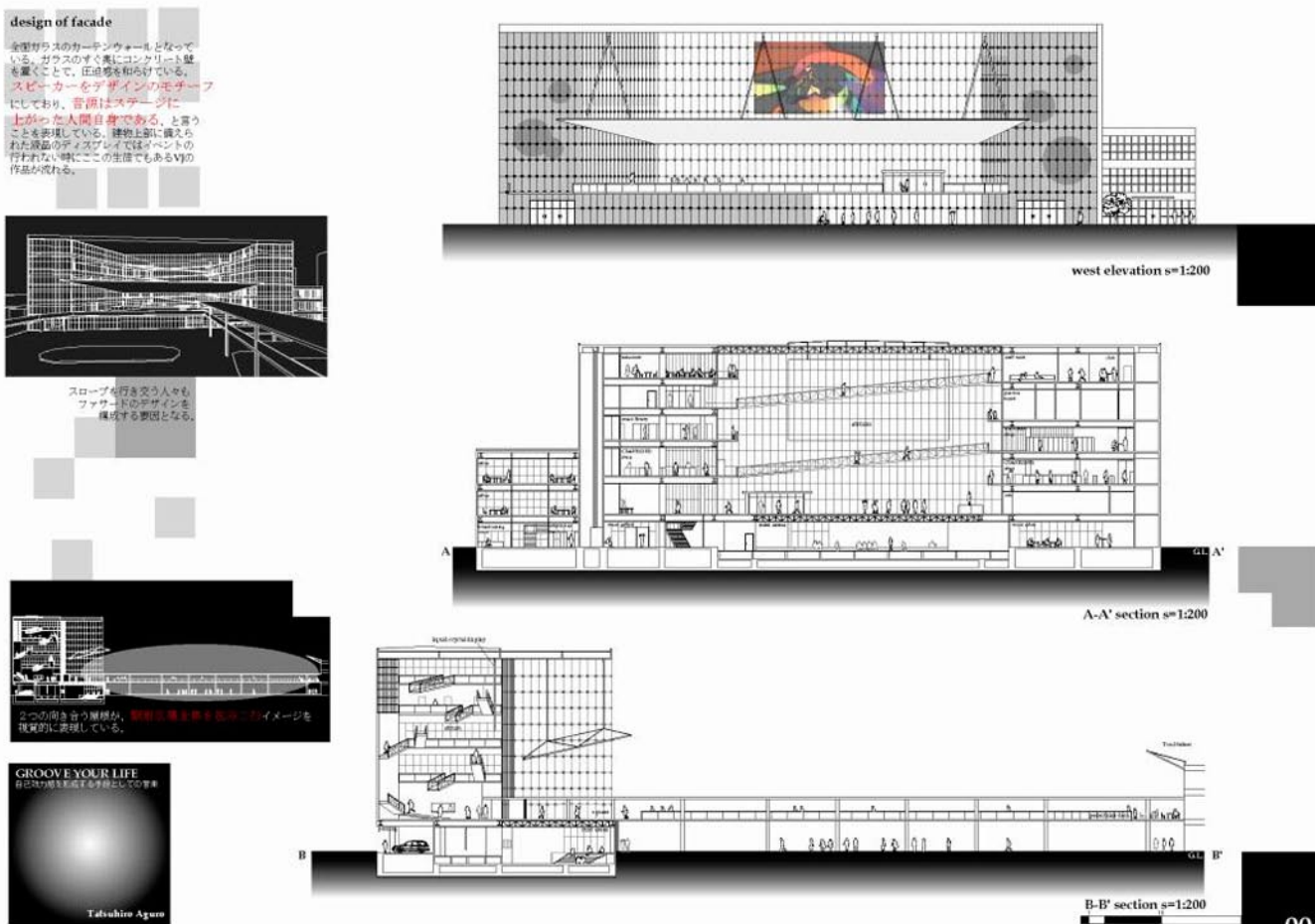
Ten Station

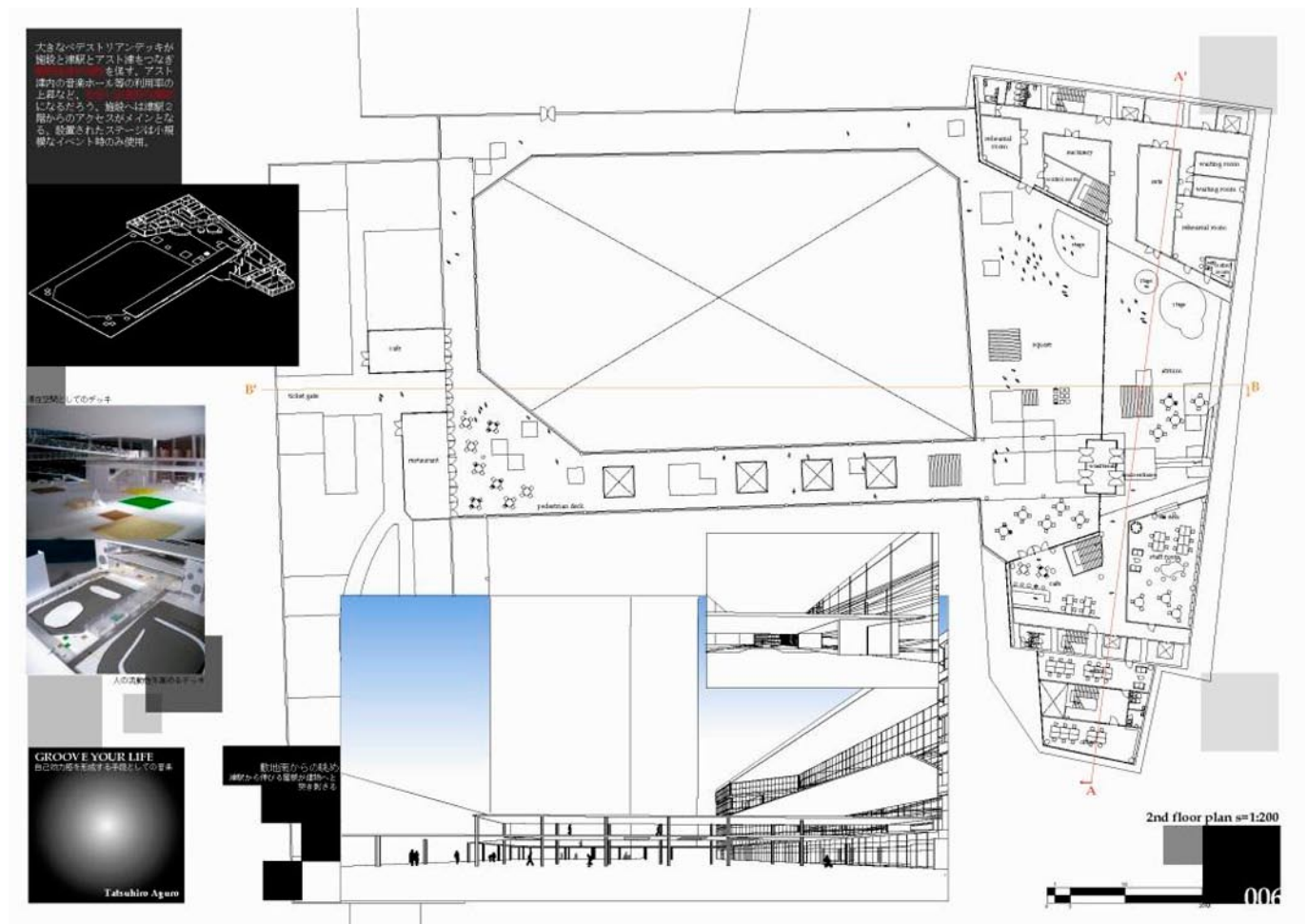
route 23

Warning Facility

敷地	三重県津市河原町
敷地面積	2,834.4m ²
建築面積	2,157.4m ²
延べ床面積	8,858.7m ²
建ぺい率	76.1%
容積率	312.5%

002





「GROOVE YOUR LIFE—自己効力感を形成する手段としての音楽」 安黒 達裕

